

る緊張効果の緩和，リラクゼーション効果が見られたのではないかと考えている。

P68 図フェイシャルスキンケア施術前後での唾液中コルチゾール濃度の変化は，施術初回，5回目とも施術後に有意に低下した。また，施術前の値は施術初回に比べて5回目でも有意に低値を示した。

P69 図フェイシャルスキンケア施術前後での分泌型 IgA 濃度の変化は，5回目の施術の前後でのみ測定したが，施術後に有意に上昇した。

P69 図フェイシャルスキンケア施術前後での不安尺度の変化は，特性不安で変化が見られなかったが，状態不安は施術後に有意に低下した。また，施術前の値は施術初回に比べて5回目でも有意に低値を示した。

D. 考察

今回の実験は，フェイシャルスキンケア施術の安全性及び身体への影響を調査したところ，施術群37名全員に異常は認められず，安全性について問題はなかった。今回施術を行った技術者は，全員が民間資格を保有しており，このレベルの技術者が施術を行う限りフェイシャルスキンケアの基本コースは安全性が確保されているものと考えられる。

循環機能の測定では，心拍数および心臓副交感神経活動の応答から，一過性のリラクゼーション効果が示唆されたが，初回と5回目の応答に有意差はなく，今回の介入条件では慢性的な効果はほとんどないと考えられる。

一方，唾液中コルチゾール濃度および状態不安については，一過性のストレス軽減効果とともに慢性的な効果も確認された。

今後は，これがフェイシャルスキンケア介入による効果なのかどうか，また効果の持続性などのについても検討する必要があるだろう。また，分泌型 IgA 濃度が施術後に有意に増大し，免疫機能が一過性に改善するという興味深い知見が得られた。

これまでに習慣的な運動実施⁴⁻⁵や様々なリラクゼーションにより免疫機能が高まるという知見が報告されている。笑うことで natural killer 細胞が増加するという報告⁶や，筋肉をリラックスさせるトレーニング (Abbreviated Progressive Relaxation Training) により分泌型 IgA 濃度が有意に上昇するという報告⁷があるが，フェイシャルマッサージによる免疫機能の改善については，われわれの知る限り報告はない。今後，慢性の効果についても検証する必要があるだろう。

本研究では，40歳前後の女性を対象として検証した結果は上記のとおりだが，違う年齢層及びいろいろな技法(化粧品含む)と多種あるエステ機器等を複雑に組み合わせた多様な施術サービス(付加サービス)について次年度以降検証していく必要があるだろう。

E. 結論

フェイシャルスキンケア基本コースの安全性について，循環機能の測定結果から，フェイシャルスキンケアによって問題が生じた症例はなく，循環機能に問題はなかった。

心拍数および心臓副交感神経活動の応答から，一過性のリラクゼーション効果が示唆されたが，今回の介入条件では慢性的な効果はほとんどないと考えられた。

一方、唾液中コルチゾール濃度および状態不安については、一過性のストレス軽減効果とともに慢性的な効果も確認された。今後は、これがフェイシャルスキンケア介入による効果なのかどうか、今後は、これがフェイシャルスキンケア介入による効果なのかどうか、また効果の持続性などについても検討する必要があるだろう。

参考文献

1. Hayano J, Taylor JA, Mukai S, Okada A, Watanabe Y, Takata K, Fujinami T. Assessment of frequency shifts in R-R interval variability and respiration with complex demodulation. *J Appl Physiol.* 1994;77(6):2879-88.
2. Spielberger, C.D., Gorsuch, R.L., Lushene, P.R., Vagg, P.R., & Jacobs, G.A (1983). *Manual for the State-Trait Anxiety Inventory.* Consulting Psychologists Press, Inc.
3. Akimoto T, Nakahori C, Aizawa K, Kimura F, Fukubayashi T, Kono I. Acupuncture and responses of immunologic and endocrine markers during competition. *Med Sci Sports Exerc.* 2003;35(8):1296-302.
4. Akimoto T, Kumai Y, Akama T, Hayashi E, Murakami H, Soma R, Kuno S, Kono I. Effects of 12 months of exercise training on salivary secretory IgA levels in elderly subjects. *Br J Sports Med.* 2003 Feb;37(1):76-9.
5. Shimizu K, Kimura F, Akimoto T, Akama T, Kuno S, Kono I. Effect of free-living daily physical activity on salivary secretory IgA in elderly. *Med Sci Sports Exerc.* 2007;39(4):593-8.
6. Takahashi K, Iwase M, Yamashita K, Tatsumoto Y, Ue H, Kuratsune H, Shimizu A, Takeda M. The elevation of natural killer cell activity induced by laughter in a crossover designed study. *Int J Mol Med.* 2001;8(6):645-50
7. LA and Jones GE. The Impact of Abbreviated Progressive Muscle Relaxation on Salivary Cortisol and Salivary Immunoglobulin A (sIgA). *Applied Psychophysiology and Biofeedback,* 2005;30(4):375-387.

図 フェイシャルスキンケア施術中の心拍数及び心臓自律神経活動の変化

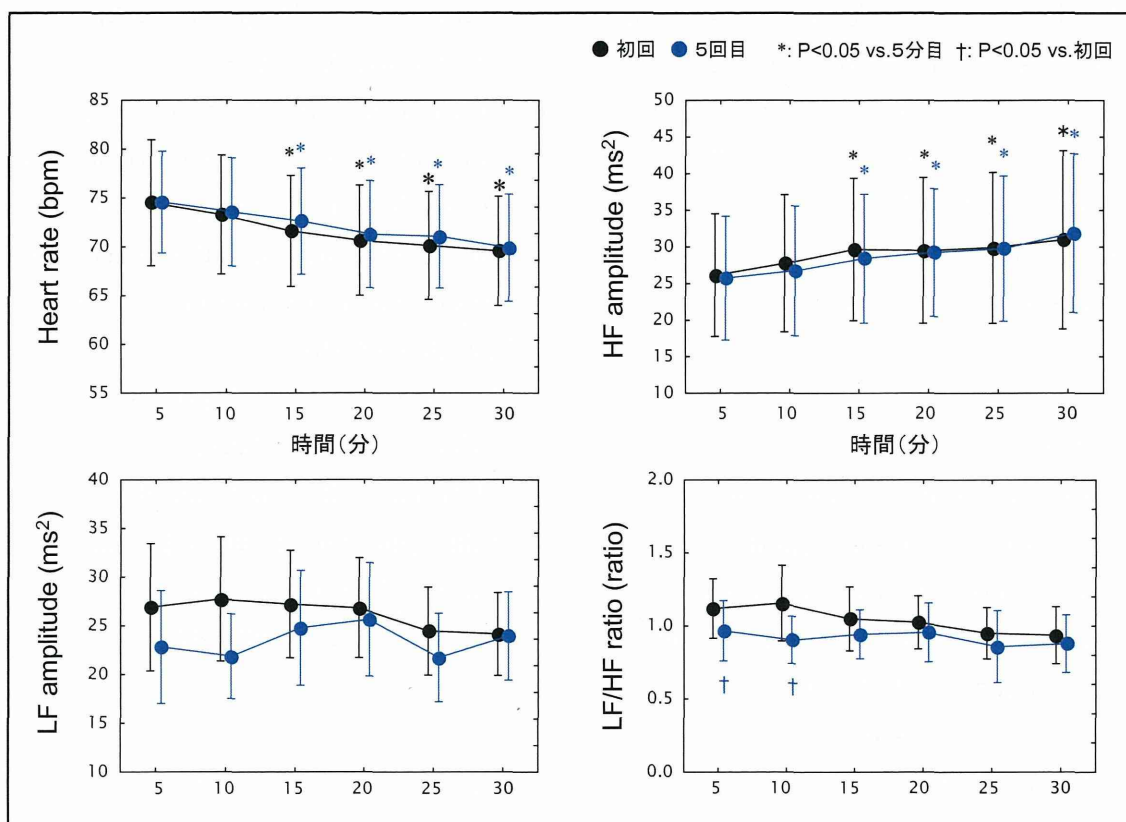


図 フェイシャルスキンケア施術前後での唾液中コルチゾール濃度の変化

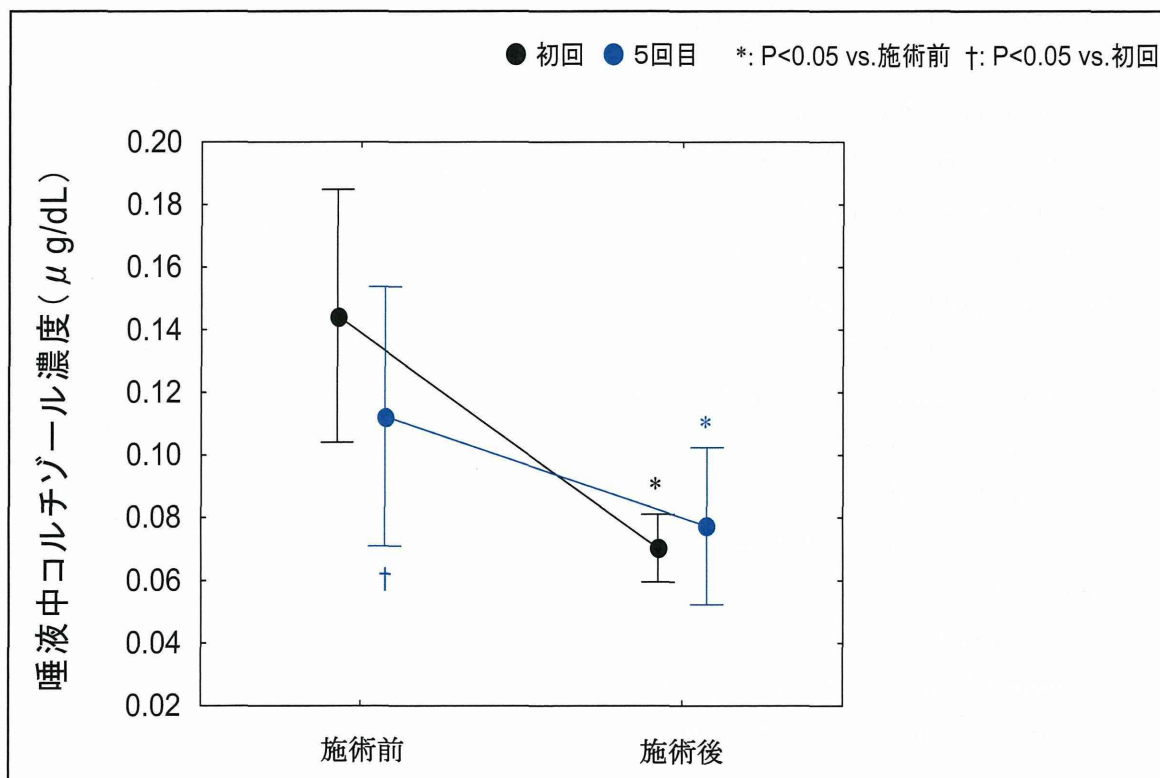


図 フェイシャルスキンケア施術前後での分泌型IgA濃度の変化

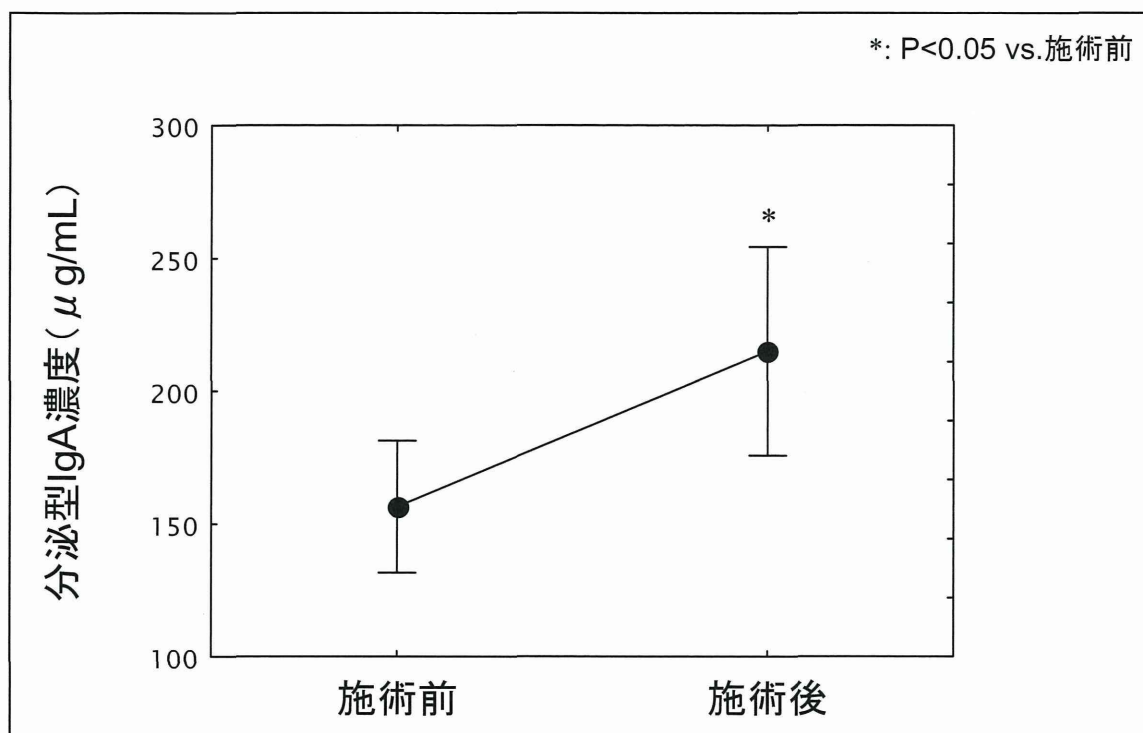
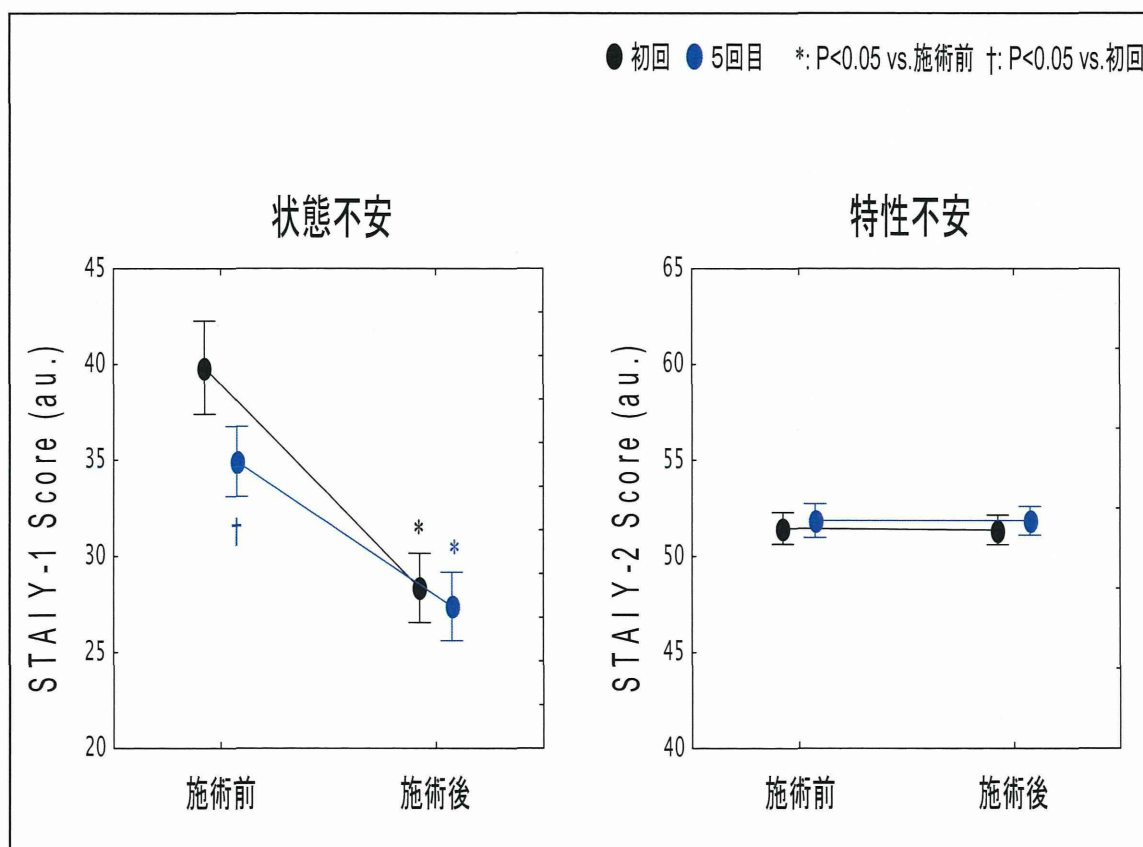


図 フェイシャルスキンケア施術前後での不安尺度の変化



厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

平成23年度 分担研究報告書

エステティックにおける衛生管理の実態について

研究分担者 大原 國章（財団法人日本エステティック研究財団 理事長）

研究協力者 神沼 英雄（元 東京都保健所衛生課 課長補佐）

研究協力者 竹田 政宏（学校法人国際文化学園国際文化理容美容専門学校
渋谷校 教務部美容科科长）

研究要旨

目的

エステティックの施術者は手指を使って直接顧客の皮膚に触れたり、器具や備品類を繰り返し使用しているが、感染症等の危害予防につながる衛生管理に対する意識の希薄さや、教育機関で修得した衛生に関する知識が現場で活かされていないことなどが昨年度の調査研究で判明した。今年度は、衛生管理の実態をさらに具体的に把握するためにエステティック770店舗から回答のあった実態調査票の調査結果、さらには1都5県のエステティック24店舗の視察で得たデータを解析し、衛生管理の教育方法や衛生管理マニュアル、チェックリスト等の策定、エステティックへの普及の方策の検討を目的とした。

方法

沖縄県を除く、全国2,200のエステティック店舗に実態調査票を郵送し、770店舗から回答を得た（回収率35.0%）。実態調査票には、日常の衛生管理の取り組みを知るための質問をはじめ、繰り返し使用する器具や備品類の消毒方法など、財団法人日本エステティック研究財団発行の「エステティックの衛生基準」に準拠して作成した衛生管理に関する21項目の質問を盛り込んだ。また、保健衛生の専門家を中心に1都5県（宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡）のエステティック24店舗を視察し、ヒアリング調査を行った。

結果

実態調査票の結果では、衛生管理に関する21項目の質問に対して、80%以上実施していると回答したのは全体の28.4%（うち100%実施している施設は4.9%）。質問項目の実施率が49%以下だった施設は14.2%あった。衛生管理を適正に実行するための取り組みとして、衛生管理責任者を決めているのは50.3%、衛生管理の講習会等を行っていたのは29.6%、衛生管理マニュアルがある施設は57.4%、チェックシートがある施設は27.5%だったが、21項目の実施率が80%以上の店舗28.4%のうち「衛生管理責任者を決めている店舗」は82.6%、「衛生管理マニュアルのある店舗」は84.8%と、衛生管理責任者の存在や作業行動等を示した衛生管理マニュアルを作成することで、衛生管理に取り組む意識は向上し、日常的に実

践する行動の習慣化ができると考えた。衛生管理を実践するための責任者を決め、適正に衛生管理が実践されるためのマニュアル、チェックシートなどを整備することで、個々の意識が高まり、感染症等の危害予防の向上につながるものとする。

結論

すべてのエステティック施設において感染症等の危害予防のために、衛生管理の重要性を認識し、消毒等を適正に実践することが望ましい。多忙等を理由に疎かにされるケースはあるが、衛生管理責任者を決めている店舗や衛生管理マニュアルのある店舗では、衛生的に作業を進めることが日常化、習慣化していることもあり、衛生管理責任者を置くことも含め、どんな状況でも適正に衛生管理が実行できる仕組みの構築が必要である。次年度は、エステティックで生じる消費者への身体危害を防止するために、保健衛生等の専門家やエステティック店舗の衛生管理責任者等の意見を参考に、実践しやすい仕組み、施術現場に即した衛生管理の教育方法や衛生管理マニュアル、チェックリスト等の策定、施設への普及の方策について検討し、提言する。

A. 研究目的

不特定多数の顧客が利用し、様々な手法や施術用機器を用いて施術を行っているエステティックでは、常に施術者や顧客を介して感染症等に感染する可能性がある。

昨年度の調査研究結果では、エステティック業界で実施している技術者資格の取得時に、必ず衛生管理に関する一定の教育はなされていても、施設内では必ずしも適正に実践されていなかった。

また、「使用済みの器具や備品類の消毒が不十分」、「施術者の手指の洗浄・消毒が不十分」、「化粧品取り扱いが不衛生」といった事例や、「皮膚トラブル等を生じた場合の対処方法ができていない」、「衛生管理を適正に実践するためのマニュアルやチェックシートが整備されていない」、「定期的に衛生に関する教育や講習を受けたり、情報収集する場がない」などの問題点も報告された。

今年度は、エステティックにおける衛生管理の実態をより具体的に把握するために、

沖縄県を除く全国 2,200 のエステティック店舗に実態調査票を郵送し回答を求めた(770 店舗から回答を回収)。合わせて 1 都 5 県 24 店舗の視察及びヒアリングで得たデータを解析し、衛生管理の教育方法や衛生管理マニュアル、チェックリスト等の策定、施設への普及の方策の検討を目的とした。

B. 研究方法

①エステティック営業施設における実態調査票の郵送及び回収

1) 実態調査票郵送先

沖縄県を除く、一般社団法人日本エステティック協会及び一般社団法人日本エステティック業協会の会員を対象に、全国 2,200 のエステティック店舗に調査票を郵送。770 店舗から回収(回収率 35.0%)。

2) 実態調査票調査項目(詳細は P80～エステティック営業施設における実態調査票参照)

①施設の概要

・店舗数、営業形態、エステティシャン

数、利用客の男女比、女性客及び男性客の年代別利用比率。

②フェイシャルスキンケアメニューに関する質問

- ・フェイシャルスキンケアを受ける顧客の比率、メニュー数、顧客の来店目的。

③フェイシャルエステティックに使用する施術用化粧品に関する質問

- ・化粧品の種類、使用方法、精油(エッセンシャルオイル)の使用状況、化粧品による皮膚トラブルの発生状況及び対処方法。

④フェイシャルエステティックで使用する施術用エステ機器に関する質問

- ・使用機器名、機種数、使用目的、施術用エステ機器による皮膚トラブル等の発生状況及び対処方法。

⑤衛生管理に関する質問 21 項目(財団法人日本エステティック研究財団発行の「エステティックの衛生基準」に準拠して作成)(P82~)

- ・施設内での衛生管理を徹底するための取り組み(衛生管理責任者の有無、衛生管理講習会等の実施、衛生管理マニュアル及びチェックシートの有無)。
- ・顧客の皮膚に直接触れる施術用備品、器具等の消毒について(タオルの消毒、ベッド及びヘッドレストの消毒、機器等の消毒、スポンジ及び洗顔ブラシ等の消毒)
- ・備品及び器具等の保管、廃棄物の管理、施設内の清掃(使用済み備品類と未使用品の保管状況、血液等の付着したものの処理方法、保管場所の清掃及び消毒、トイレ等の清掃及び殺虫消毒)
- ・施術用化粧品の取り扱い(開封日の管理、

化粧品の取り扱い及び使用方法)

- ・施術者の衛生(手指の洗浄及び消毒、毎日の健康状態のチェック、健康診断の受診)

3) 1 都 5 県 24(宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡)エステティック店舗の視察及びヒアリング調査

①視察先エステティック店舗(視察順)

- ・トータルリラクゼーションサロン プルミエエトワール(東京都港区南青山)
- ・サヴォワール 代官山(東京都渋谷区恵比寿西)
- ・エステ プロデュース(神奈川県横浜市元町)
- ・スリムビューティハウス銀座店(東京都中央区銀座)
- ・ミスパリ新宿本店(東京都新宿区西新宿)
- ・ダンディハウス新宿本店(東京都新宿区西新宿)
- ・SPA ゲストハウス新宿(東京都新宿区西新宿)
- ・エステティック スナバ(東京都新宿区新宿)
- ・ハツコエンドウ エステティック銀座店(東京都中央区銀座)
- ・エステティックサロン ラピスクーナ(東京都渋谷区恵比寿南)
- ・エスティオ田園調布店(東京都大田区田園調布)
- ・ヴァン ベール渋谷店(東京都渋谷区宇田川町)
- ・ラ フラーム(東京都港区北青山)
- ・ヒーリングスペース ライフェス(東京都港区白金台)

- ・ラ セーナ志木店(埼玉県志木市本町)
- ・たかの友梨ビューティークリニック
浅草店(東京都台東区雷門)
- ・アップルマインド船橋店(千葉県船橋
市本町)
- ・アップルマインド本八幡店(千葉県市
川市南八幡)
- ・エステイン パリンドパリ(宮城県仙
台市若林区)
- ・アンシャンテ(宮城県仙台市太白区)
- ・トリートメントサロン ミミック(静
岡県静岡市清水区)
- ・サロンドルネ(静岡県静岡市葵区)
- ・エルセーナ青山店(東京都港区南青
山)
- ・セナング代官山(東京都渋谷区猿楽
町)

②視察期間

平成 23 年 10 月 20 日～平成 24 年 1 月
14 日

③視察者及び視察時対応者

研究協力者である保健衛生の専門家を中心
に、研究者が同行し視察先を訪問した。視
察先では、経営者及び衛生管理責任者、社
内教育担当者がヒアリング等に対応した。

④視察及びヒアリングの内容

実態調査票で質問した衛生管理 21 項目に
沿って、衛生管理責任者有無、マニュアル
やチェックシートの有無、直接皮膚に触れ
る使用済みタオルや備品、器具類の分類及
び消毒方法、消毒後の保管方法、消毒室の
有無、施術室内の手洗い設備の有無や速乾
性擦式消毒剤等の配置、使用している消毒
剤の名称等々について、施設内の視察と聞き

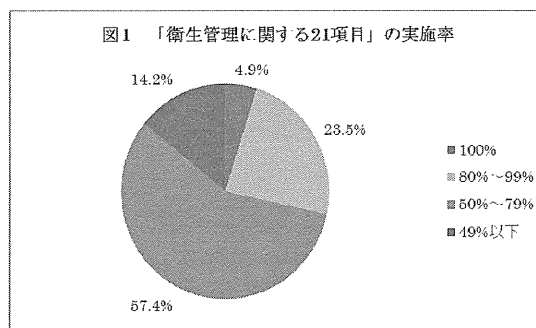
取り調査を行った。また、衛生管理を適
正に実践するに当たり、施設内で工夫し
ている点などについても聞き取りを行
った。

C. 研究結果

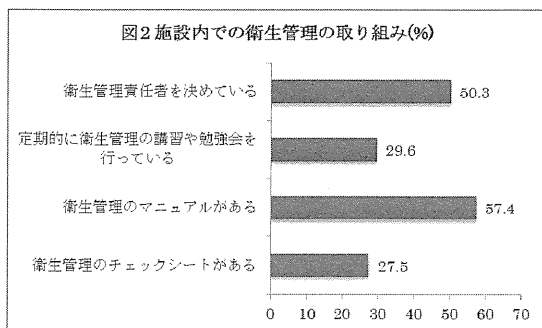
①実態調査票の回答結果によるエステティック営業施設の衛生管理の状況

1)施設内での衛生管理を徹底するための取り組み (P92)

実態調査票の衛生管理に関する 21 項目の
質問に対して、100%実践していると回答
した店舗は全体の 4.9%。80%～99%実
施していたのは 23.5%、50%～79%が
57.4%、49%以下は 14.2%だった。(図
1)

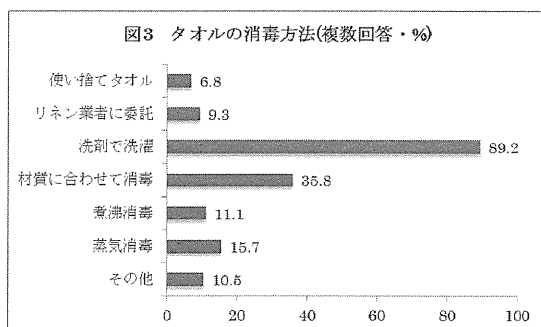


施設内で衛生管理向上の取り組みとして、
衛生管理責任者を決めている店舗は 50.3%
、マニュアルがある 57.4%は半数を超えた
が、定期的に勉強会などを実施している
29.6%、チェックシートがある 27.5%は
全体の4分1程度しか実施されていなか
った。(図 2)



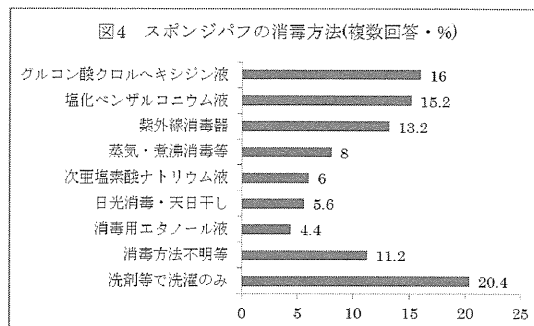
2) 顧客の皮膚に直接触れる施術用 備品、器具等の消毒

繰り返し使用されるタオル類の消毒は、97.2%の店舗で実施していると回答があったが、そのうち 33.0%は洗濯だけで、洗濯すること＝消毒との間違った認識があった。また、使い捨てのタオルを使用している店舗は 6.8%、リネン業者に委託している店舗は 9.3%だった。(図 3)



器具類の消毒では、85.2%が材質に合わせて行っていたが、消毒していない理由として「消毒方法がわからない 1.2%」「消毒の必要がない 0.9%」「消毒の効果がわからない 0.3%」「消毒が面倒 0.9%」などがあった。また、施術時に比較的使用頻度の高いスポンジパフや洗顔ブラシ等については、それぞれ 87.7%、73.1%の比率で行われていた。

具体的なスポンジパフの消毒方法は図 4。



3) 備品及び器具等の保管、廃棄物の管理、 施設内の清掃

使用済みのもと消毒済みのものを区別して保管収納している店舗は 85.2%あったが、保管場所を 1 週間に 1 回以上清掃していたのは 66.4%だった。廃棄物を蓋付きの専用容器に入れて処理している施設は 56.5%。体液や血液の付着した使い捨て用品等の専用廃棄容器があると回答したのは半数以下 (40.4%)にとどまった。

4) 施術用化粧品の取り扱い

化粧品の開封日を管理している施設は 72.2%、化粧品の小分けには清潔なスパチュラを使用しているのは 90.7%あった。

5) 施術者の衛生

施術者の手指は石けんでよく洗って速乾性擦式消毒剤等で消毒していると回答した施設は 92.3%、施術者の健康状態や手指の傷の有無を毎日確認しているのは 75.9%、顔面の施術の際に施術者がマスクを着用していたのは 74.4%だった。

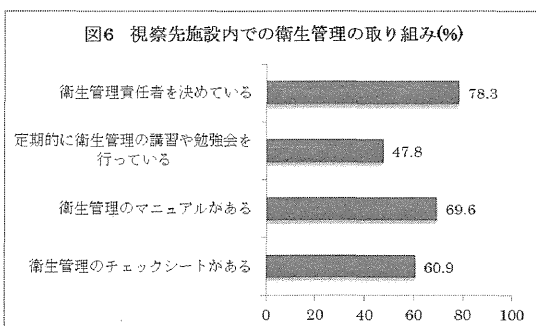
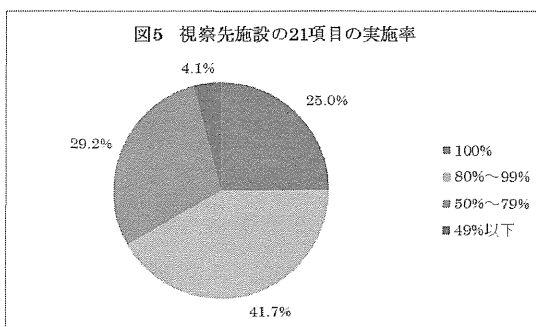
②視察した 1 都 5 県 24 エステティック店舗

の衛生管理状況

1) 施設内での衛生管理を徹底するための取り組み

視察した 24 店舗における衛生管理に関する質問 21 項目の実施率、及び施設内で衛生管理向上の取り組みは、実態調査の結果をすべてで上回っていた。

(図 5, 6 参照)



2) 顧客の皮膚に直接触れる施術用備品、器具等の消毒

タオル類の消毒は、すべての店舗で実施(100%)しており、洗濯だけで済ませている店舗はなかった。

使い捨てのタオルを使用している施設は無かったが、リネン業者に

委託している店舗は 43.5%と実態調査票の回答に比べて多く、清潔な状態を維持するために使用時に顧客の前で包装用ビニールから取り出して使用して

いるという。

器具類の消毒では、使用している店舗のすべてで材質に合わせて行っていた。器具類を一切使用していない店舗は 4.3%あった。

また、施術用スポンジパフや洗顔ブラシ等の消毒についても、同様に実施されていた。器具類同様に使用していない店舗は、それぞれ 4.3%、13.0%あった。

3) 備品及び器具等の保管、廃棄物の管理、施設内の清掃

使用済みのもと消毒済みのものを区別して保管収納しているのは 95.7%、保管場所を 1 週間に 1 回以上清掃していたのは 82.6%。廃棄物を蓋付きの専用容器に入れて処理していたのは 82.6%で、残りの店舗の廃棄物専用容器には蓋がなかった。体液や血液の付着した使い捨て用品等の専用廃棄容器があったのは 56.5%。

4) 施術用化粧品の取り扱い

化粧品の開封日を管理していた施設は 82.6%。化粧品を小分けするときには、すべての店舗で清潔なスパチュラを使用していた(実施率 100%)。

5) 施術者の衛生

施術者の手指は石けんでよく洗って速乾性擦式消毒剤等で消毒していると回答した施設は 95.7%と高い比率で実践されていたが、手の洗浄はするものの消毒用エタノール等で手が荒れるので使用頻度は低いという店舗もあった。施術者の健康状態や手指の傷の有無を毎日確認していたのは 95.7%あり、すべての店舗で顔面施術時には施術者が

マスクを着用していた。

③視察した保健衛生の専門家からの指摘

1) 外から細菌やウイルス等を持ち込まない

施術者は入店する際に手指の洗浄や消毒は実行されているが、うがいなども励行してほしい。また、顧客にも来店時には手指の洗浄、消毒に協力してもらえよう、工夫と努力が望まれる。

2) 施設内の換気を充分に行う

マンション等で営業している店舗では、十分な換気がされていないケースが多かった。店内にはスチームを使用する施術用器具等があるため、湿度の面からも充分換気には注意する必要がある。

3) 適切な消毒処理を施し、使用する道具や施設内の安全を保つ

器具類は洗浄後、エタノール消毒をした後に保管管理している店舗が多くみられたが、スポンジ類の消毒への意識には差があった。

4) 消毒済みの備品類を安全な状態で保管する

タオル等の備品類は扉付きの棚の中に空気に直接触れないような保管が望ましいが、扉のない棚にむき出しの状態では保管されている店舗もあった。さらに施術室内にむき出しのまま準備されている状況もあり、湿気等に触れる可能性が高いため、改善する必要がある。

D. 考察

昨年度の調査で分かったエステティックの衛生管理の実態「使用済みの器具や備品類の消毒が不十分」、「衛生管理を適正に行うためのマニュアル等が整備されていな

い」などを踏まえ、今年度はエステティックの衛生管理の実施状況を調査した結果、昨年と同様に、「消毒の不備」や「衛生管理に取り組む意識や姿勢」に問題があると考えた。

衛生管理を実践する取り組み姿勢を判断する質問として、「衛生管理責任者を決めている店舗」は調査票で 50.3%、「衛生管理のマニュアルがある店舗」は同 57.4%、「衛生管理のチェックシートがある店舗」は同 27.5%だった。また衛生管理の現状を把握する 21 の質問に、80%以上の比率で実施していた店舗はわずか 28.4%しかなく、積極的に取り組んでいるとはいえない現状があった。

一方で、衛生管理責任者を決めている店舗、あるいは衛生管理マニュアルがある店舗は、21 の質問に対して 80%以上実施していた比率は、それぞれ 82.6%、84.6%と高い数値が示された。

施設内に衛生管理を司る責任者を置き、個々の従事者が何をどのようにすべきかを記した衛生管理マニュアルを常備することで、施術者の行動意識を高め習慣的に日々の衛生管理を実践できると考えた。

店舗として衛生管理の必要性や重要性を明確にする取り組みが行われていない現状は、衛生に関する一定の教育を受けた施術者であっても「消毒の必要性や消毒による効果を理解していない」、「洗剤で洗濯＝消毒と間違えた認識」といった衛生管理に対する認識が希薄になっている一つ大きな要因であると思われる。

衛生管理を実践するための責任者を決め、適正に衛生管理を実践するためのマニュアル、チェックシートなどを整備することで、

従事者個々の意識が高まり、感染症等の危害予防の向上につながるものとする。

E. 結論

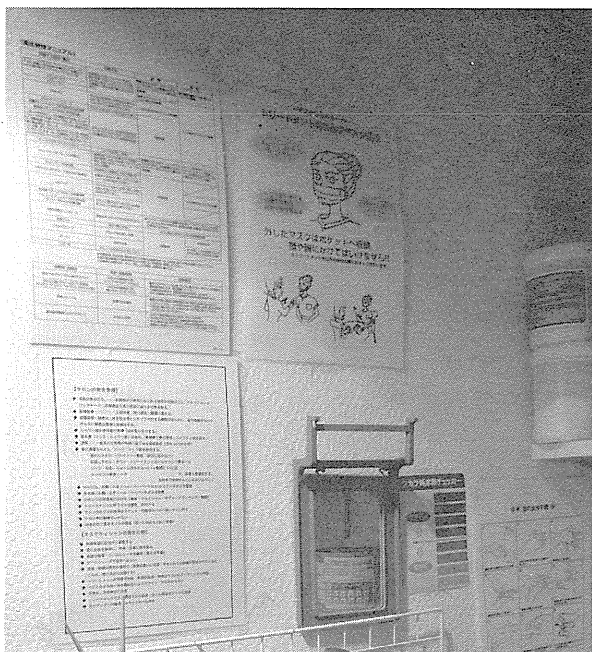
エステティックには、不特定多数の顧客が来店し、施術者の手指をはじめ、顧客の皮膚に直接触れる器具や備品類等を繰り返し使用して施術が行われている。こうした現状では、常に感染症等による危害が起こる可能性はある。

感染症等による危害予防の観点から、すべてのエステティックで衛生管理の重要性を認識し、消毒等を適正に実践しなければならない。

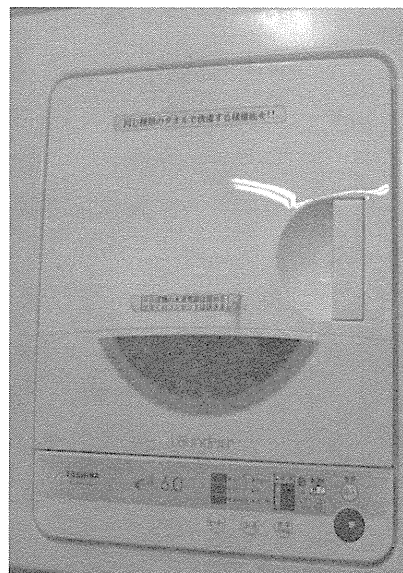
多忙を理由に疎かにされる傾向があるが、衛生管理に取り組む意識や実践することを習慣化するには、調査結果が記すように衛生管理責任者を決めたり衛生管理マニュアルを常備するなど、どんな状況でも日常的に実行できる仕組みの構築が必要である。

次年度は、エステティックで生じる消費者への身体危害を防止するために、保健衛生等の専門家やエステティック店舗の衛生管理責任者等の意見を参考に、実践しやすい仕組み、施術現場に即した衛生管理の教育方法や衛生管理マニュアル、チェックリスト等の策定、施設への普及の方策について検討し、提言する。

視察先店舗の衛生管理状況



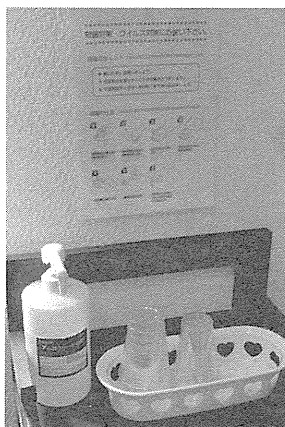
←従業員用手洗い場には目につくように「衛生管理マニュアル」、「マスク着用を奨励するポスター」、「手指の洗浄手順」等が貼られている。



→使用済みタオルは使用目的ごとに分別して洗濯するようにシールを貼って徹底を促す。



↑→入店時の顧客に手指消毒の協力を促した案内と消毒液。



↑使用済みの廃棄物等を入れる蓋付きの専用容器を設置している店舗は約半数。



↑リネン業者を利用しているこの店舗では、一客毎にビニールに入ったガウンを用意している。



→視察先で店舗の管理責任者から説明を受ける。

1. エステティック営業施設 実態調査票

貴サロン名	
ご記入者肩書き・氏名	
ご連絡先電話番号	— —
<p>★貴サロンの経営タイプは?(該当するもの1つに○)</p> <p>①直営の多店舗(全 店舗) ②フランチャイズ加盟店 ③個人経営の単店舗 ④その他()</p> <p>★貴サロンのエステティック営業形態は?</p> <p>①エステ専門店 ②理容室と併設 ③美容室と併設 ④化粧品店と併設 ⑤スポーツ施設と併設 ⑥医療施設と併設 ⑦その他()</p> <p>★貴サロンのエステティシヤンの人数は?</p> <p>エステティシヤン(人)</p> <p>★貴サロンの利用客の男女比率は?(合計が100%になるように記入)</p> <p>女性(%) 男性(%)</p> <p>★貴サロンの女性利用客の年齢層は?(合計が100%になるように記入)</p> <p>10歳代(%) 20歳代(%) 30歳代(%) 40歳代(%) 50歳代(%) 60歳以上(%)</p> <p>★貴サロンの男性利用客の年齢層は?(合計が100%になるように記入)</p> <p>10歳代(%) 20歳代(%) 30歳代(%) 40歳代(%) 50歳代(%) 60歳以上(%)</p>	

Q1. 貴サロンでフェイシャルエステティックを受けられるお客様は全来店客の (%)

Q2. 貴サロンのフェイシャルエステティックに関するメニュー・コースは何種類ありますか? (種類)

Q3. 貴サロンでフェイシャルエステティックを受けるお客様の目的は?(該当するもの全てに○)

- ①リラクゼーション ②整肌 ③シミのケア ④シワのケア ⑤ニキビのケア
 ⑥脱毛 ⑦タルミのケアや引締め ⑧その他()

Q4. 上記回答の中で来店目的の高いものは?(上位3つ上げてください)

1位() 2位() 3位()

■フェイシャルエステティックで使用する化粧品に関する質問

Q5. 貴サロンのフェイシャルエステティックで使用している化粧品は？(該当するもの全てに○)

- ①既製のメーカー化粧品 ②オリジナル化粧品(OEMを含む) ③精油(エッセンシャルオイル)

Q6. 既製のメーカー化粧品は、何社、何品目ありますか？

(国産化粧品 社、 品目)

(輸入化粧品 社、 品目)で下記の該当する①～⑨全てに○をつけてください

- ①化粧水 ②クレンジング剤 ③乳液 ④マッサージクリーム ⑤マッサージオイル ⑥保湿クリーム ⑦美容液 ⑧パック・マスク剤 ⑨その他()

Q7. フェイシャルエステティックで使用するオリジナル化粧品(OEM)は、何種類、どのような化粧品がありますか？(該当するもの全てに○)

(種類)

- ①化粧水 ②クレンジング剤 ③乳液 ④マッサージクリーム ⑤マッサージオイル ⑥保湿クリーム ⑦美容液 ⑧パック・マスク剤 ⑨その他()

Q8. 精油(エッセンシャルオイル)は、何種類ありますか？また、主にフェイシャルエステティックで使用する精油名はなんですか？

(種類)(精油名：)

Q9. フェイシャルエステティックで化粧品を混ぜて使用することがありますか？

①ない

②ある(混ぜて使用している化粧品について、下記枠内に何と何を混ぜて使用しているのか、それぞれのケースごとに化粧品名をお書きください)

1	
2	
3	

Q10. 貴サロンで化粧品の使用が原因と思われる「かぶれ」等の皮膚障害を起こしたことがありますか？

①ない

②ある(そのときに使用していた化粧品名と皮膚障害の内容(かぶれなど)、起こした件数をお書きください)

使用していた化粧品名	障害の内容(かぶれ、ニキビ、感染症など)	経過(病院で治療、自然に治ったなど)	件数

■フェイシャルエステティックで使用する機器に関する質問

Q11. 貴サロンのフェイシャルエステティックで使用する機器は何機種ありますか？それぞれの機器の名前と使用目的を全て記入してください

(機種)

	機器名(製造会社や品番などわかる範囲でお書き下さい)	使用目的(シミ、シワ、たるみなど)
1		
2		
3		

Q12. 貴サロンでは、使用しているエステ機器で「やけど」、「けが」等のトラブルを起こしたことがありますか？過去に使用していた機器で起きたものについても記載をお願いします。

①ない

②ある(具体的に内容をお書きください)

	トラブルを起こした機器名	トラブルの内容(具体的に)と対処・経過(病院に行った、自然に治った、不明など)	件数(〇年間に〇件)
1			
2			

■衛生管理に関する質問

Q13. 貴サロンで実行しているものに()内に○をつけて、★の設問にご回答ください。

()1. 衛生管理責任者を決めている

()2. 定期的に衛生管理の講習や勉強会を行っている(★年 回)

()3. 衛生管理のマニュアルがある

()4. 衛生管理のチェックシートがある

()5. タオルの消毒を行っている

★どんなことをしていますか(該当する①～⑦全てに○をつけてください)

①使い捨てタオルの使用 ②リネン業者に委託 ③洗剤での洗濯 ④材質にあわせた消毒液による消毒 ⑤煮沸消毒 ⑥蒸気消毒 ⑦その他()

()6. ベッドとヘッドレストの消毒を行っている

★どんなことをしていますか(該当する①～⑥全てに○をつけてください)

①使用都度交換するタオルを敷いている ②1日1回交換するタオルを敷いている
③使用都度消毒用エタノールで拭いている ④毎日1回消毒用エタノールで拭いている
⑤使い捨てのカバーを敷いている ⑥その他()

()7. 皮膚に接する機器は、ガラス、合成ゴム、金属などの材質に合わせて全て消毒している

★消毒していない場合の理由はなんですか（該当する①～④全てに○をつけてください）

①消毒方法がわからない ②消毒の必要がないから（例えば何ですか）

③消毒の効果がわからない ④消毒が面倒

()8. スポンジパフは適正に消毒している

★(具体的な消毒方法:)

()9. 洗顔ブラシ、ハケは適正に消毒している

★(具体的な消毒方法:)

()10. 施術者の手指は石鹸でよく洗い、速乾性擦式清拭消毒剤などで消毒している

()11. 消毒済みの器具類は使用済みのものと区別して収納している

()12. 血液・体液の付着した使い捨て用品等の専用の廃棄容器がある

()13. 施術に伴って生ずる廃棄物は蓋付きの専用容器に入れて適正に処理している

()14. 器具類、布片類などの保管場所は1週間に1回以上清掃を行っている

()15. トイレは常に清潔に保持し、定期的に殺虫および消毒している

()16. 化粧品の開封日を管理している

()17. 化粧品の小分けには清潔なスパチュラを使用している

()18. 小分けしたり混合したりした化粧品は使用期間を決めて使用している

()19. 施術者の健康状態や手指の傷の有無を毎日確認している

()20. 施術者は顔面の施術の際にマスクを着用している

()21. 従業員には1年に1回、健康診断を受診させている

※サロン内で衛生管理を徹底して実践させるために困っていることや、わからないことがあれば下枠内に自由にお書きください

--

ご協力ありがとうございました。

エステティック営業施設実態調査 調査結果

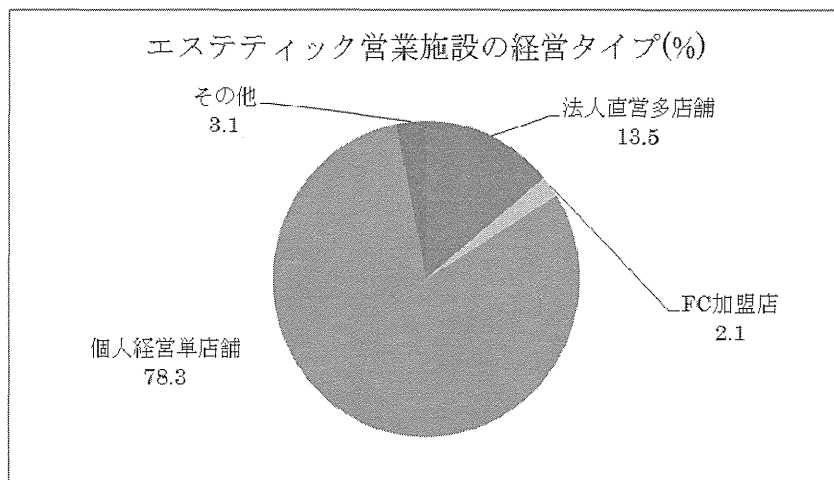
調査期間 平成 23 年 7 月 24 日～平成 23 年 9 月 30 日分まで集計

調査票郵送数 一般社団法人日本エステティック協会及び一般社団法人日本エステティック業協会に所属する会員、沖縄を除く全国 2,200 店舗のエステティックに郵送

調査票回収数 770 通(回収率 35.0%)

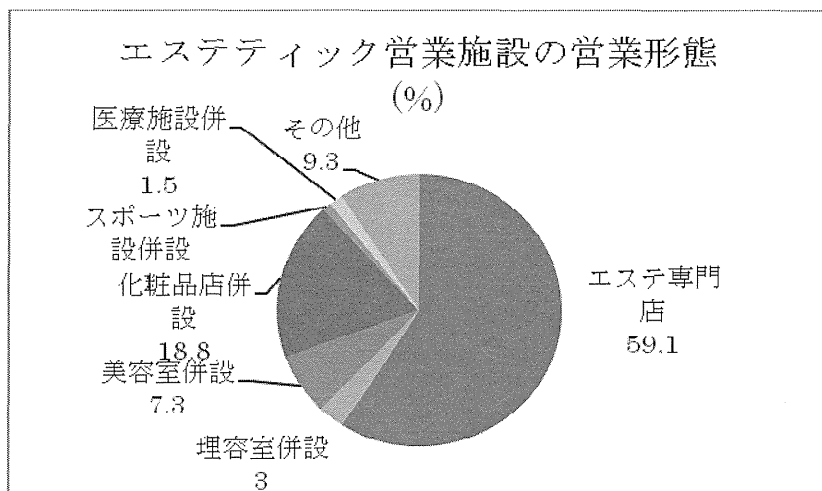
1. エステティック営業施設の経営タイプ

- ・直営多店舗 13.5% ・フランチャイズ加盟店 2.1%
- ・個人経営単店舗 78.3% ・その他(法人の単店舗等) 3.1%



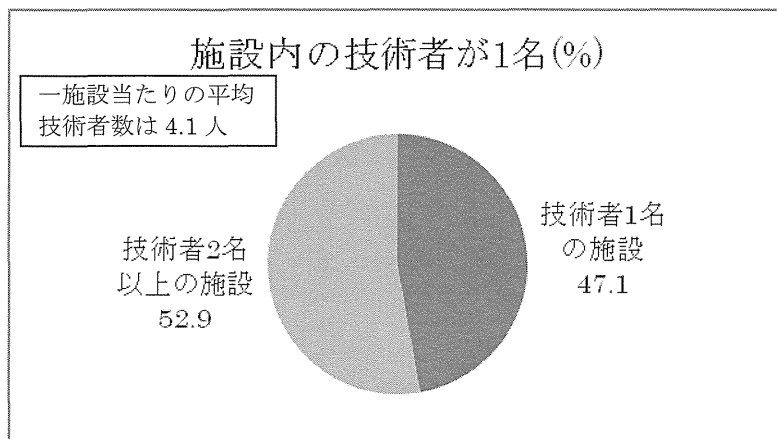
2. エステティック営業施設の営業形態(比率)

- ・エステ専門店 59.1% ・理容室併設 3% ・美容室併設 7.3%
- ・化粧品店併設 18.8% ・スポーツ施設併設 1% ・医療施設併設 1.5%
- ・その他(温泉施設、整体院等併設) 9.3%



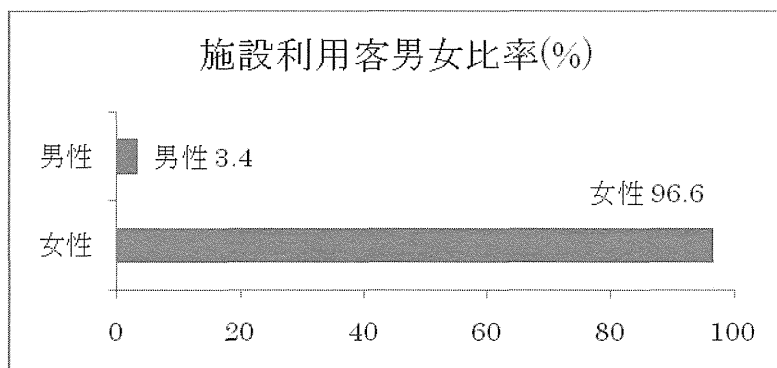
3. 一施設当たりの技術者(エステティシャン)数

平均 4.1 人 うち技術者 1 名の施設比率は 47.1%



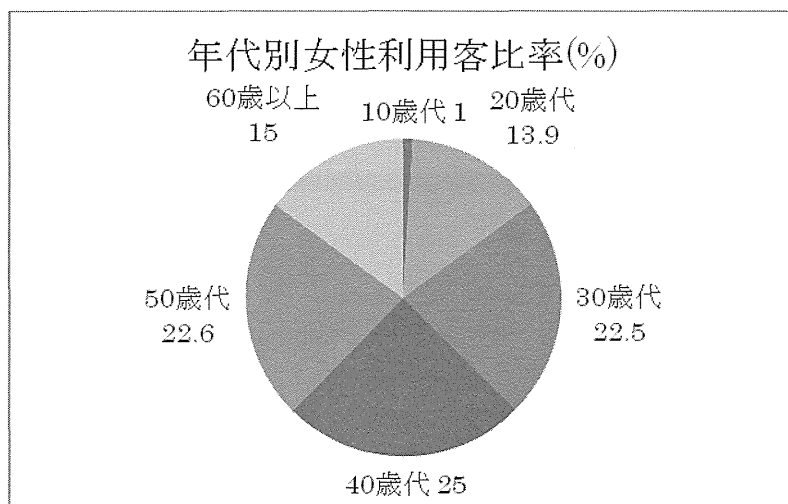
4. エステティック営業施設を利用する顧客の男女比

女性 96.6% 男性 3.4% うち女性客だけの施設比率は 70.0%

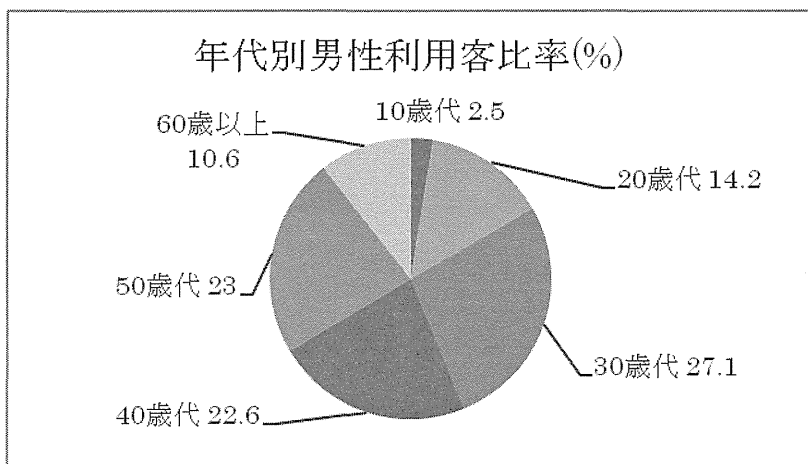


5. 女性利用客の年代別比率

10 歳代 1.0% 20 歳代 13.9% 30 歳代 22.5% 40 歳代 25.0%
50 歳代 22.6% 60 歳以上 15.0%



6. 男性利用客の年代別比率



■ フェイシャルスキンケアメニューに関する質問

Q1. フェイシャルエステティック施術を受けられる利用客の比率

平均 64.1% 最大 100% 最少 1%

Q2. フェイシャルエステティック施術のメニューやコースの種類数

平均 6.6 種類 最大 40 種類 最少 1 種類

Q3. フェイシャルエステティックを受けられる利用客の目的(複数回答)

- ①リラクゼーション 87.2% ②整肌 81.0% ③シミのケア 86.1%
 ④シワのケア 87.8% ⑤ニキビのケア 64.8% ⑥脱毛 15.3%
 ⑦タルミのケアや引締め 84.1% ⑧その他(顔そり等) 18.3%

